

札幌の歴史的建造物を旅する本

「れきけん×ぽろたび」

～知ってそうで知らないさっぽろがありました～

——札幌市が発行する本とパネル展のご紹介——

札幌市ではこの度、「札幌の歴史的建造物を旅する本『れきけん×ぽろたび』～知ってそうで知らないさっぽろがありました～」を作成いたしました。

この本は札幌市内の指定文化財・登録文化財・景観重要建造物など、48の「れきけん（歴史的建造物）」を「ぽろたび（さっぽろを旅する）」しながら巡って、新たなさっぽろの魅力が再発見できる一冊です。全国的に知られた道庁赤れんが庁舎や時計台から、地域に隠れた「れきけん」まで幅広く紹介しており、観光客にはもちろんのこと、札幌市民の市内観光にも役立ちます。

■「れきけん×ぽろたび」の特徴

1. まちづくりの歴史ごとに、5つのエリアに分けて紹介

各エリアに歴史的建造物の紹介と「さっぽろ歴史ものがたり」を一話ずつ掲載

2. れきけんのお店から聞いた建物の魅力を紹介

3. 「れきけん×ビューポイント」で見どころを解説！

4. テーマや場所で巡る「れきけん×ぽろたび」コースを紹介

本の発行と同時にパネル展を開催します。会場では、「れきけん×ぽろたび」本を配布しています。

■「れきけん×ぽろたび」パネル展

と き：2011年3月16日（水）～3月23日（水） ※土・日・祝日を除く5日間

ところ：札幌市役所本庁舎1階ロビー

■「れきけん×ぽろたび」の入手さき！

- ・北海道さっぽろ食と観光情報館（JR札幌駅西コンコース北口）
- ・観光文化情報ステーション（地下鉄大通駅南北線北改札口横）
- ・都市計画部地域計画課（札幌市役所本庁舎5階北側）

お問い合わせ———

札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課（担当：小松・西澤）

電話：011-211-2545 FAX：011-218-5113

E-Mail:keikan@city.sapporo.jp

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/>

■「れきけん×ぼろたび」写真紹介

札幌の歴史的建造物を旅する本

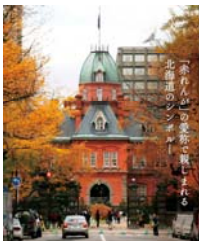


まちづくりの歴史ごとに、5つのエリアに分けて紹介



大通より北側が「官公庁の街」、南側が「商業の街」、そして南側より東側が、「もりの街」と定めた展開だった。

今の札幌が街からなる主要部の歴史が、明治初めから昭和初期にかけての歴史に、密着して描かれてきたことがよく分かります。ぜひ行きたい場所の歴史を振り返ってみましょう。



北海道庁旧本庁舎

1907年竣工。1958年、国指定の重要文化財に指定された。北海道庁の庁舎として、北海道の発展に大きく貢献した。現在は、北海道庁の庁舎として、北海道の発展に大きく貢献している。



旧札幌農学校校舎

1876年竣工。1975年、国指定の重要文化財に指定された。札幌農学校の校舎として、札幌の発展に大きく貢献した。現在は、札幌農学校の校舎として、札幌の発展に大きく貢献している。



旧札幌農学校校舎

1876年竣工。1975年、国指定の重要文化財に指定された。札幌農学校の校舎として、札幌の発展に大きく貢献した。現在は、札幌農学校の校舎として、札幌の発展に大きく貢献している。



旧札幌農学校演武場

1876年竣工。1975年、国指定の重要文化財に指定された。札幌農学校の演武場として、札幌の発展に大きく貢献した。現在は、札幌農学校の演武場として、札幌の発展に大きく貢献している。

各エリアに一話ずつ「さっぽろ歴史ものがたり」を掲載

さっぽろ歴史ものがたり **一歩目**

星のある建物たち

五稜星とは、北極星をモチーフにした開拓使のシンボル

五稜星をデザインしたのは、明治5(1872)年に開拓使開拓使となり、樺月丸船長を命じられた榎子本次郎氏。彼は樺月丸の船長時代に開拓使官であった黒田清隆の命で、開拓使の記号として星の五稜星をデザインを考案しました。五稜星は、今でも開拓使全体を象徴するシンボルとして開拓使が建てた建築物や開拓使官工場の製品に赤い星のマークが付けられていました。



見つけてみよう
今もある開拓使のシンボル

札幌市内の建物の中にかくまわれた五稜星を見つけてみましょう。例えば、北海道庁本庁舎、旧札幌農学校演武場(時計台)、豊平橋、清平などです。

北海道のマークも五稜星ゆかりの星

北海道庁本庁舎(赤れんが)へ行ってみましょう。にたないているのは北海道の七光星が描かれている。北海道旗です。開拓百年を記念して、道内の農業団体が作成した2500以上のデザイン案の中から、北海道を代表するデザイナーの菅谷信雄一氏によるデザインが選ばれました。道章のデザインは、開拓使時代の道章のイメージを七光星として現代的に表現したもので、新しく風光に輝いた北の大地の雄姿を精神と、温かく佇む北海道の未来を象徴したものです。(昭和42(1967)年3月11日制定)



開拓使札幌本庁舎の建設、明治5(1872)年

写真：(左)開拓使札幌本庁舎(開拓使本庁舎) (右)開拓使札幌本庁舎(開拓使本庁舎)

写真：(左)開拓使札幌本庁舎(開拓使本庁舎) (右)開拓使札幌本庁舎(開拓使本庁舎)

れきけんのお店から聞いた建物の魅力を紹介

歴史的建造物の中のショップ「建物の魅力をお店の人に聞きました！」

豊平橋でちょっぴり

現存する最古のホテルにふさわしい料理の数々。

開拓使開拓使官舎のホステルとして建てられた明治を代表する豊平橋は、国の重要文化財となった今も、東京の高級ホテルと対峙し、今も輝いています。宴会ホール・レストラン・宴会ホール(旧)・料亭の料亭料亭は、「日々を大切にしよう」というスタッフ教育を徹底し、職人精神をモットーに、お客の満足のために献身的に「おもてなし」を心がけています。



1階のパーティーホールはお祭りの会場にも、晴れの場にもお喜ばれます。

豊平橋宴会部 (豊平橋)

札幌市中央区南一条西1-20
TEL: 011-521-4580

営業時間：10:30~18:00
宴会部：11:00~21:00
定休日：水曜日

旧道庁本庁舎でちょっぴり

懐かしい石造りの内装は、木材を多用し、美しいイメージに。

クマノギの復原に利用されていた古庫を改装して、今も輝いている。開拓使の文化に合った石造りに使ったことから、懐かしさもある。改装して再生したといえます。「内装は木を多用し、美しいイメージに仕上げました」とお客の菅田さん。現在は癒しの空間として多くの人に親しまれています。



おついでに夕なぎ酒場の豊平橋に寄っていただくのも、おすすめです。

豆蔵酒房 菅田屋敷直徳店

札幌市東区東五条2丁目11-18
TEL: 011-787-0707
営業時間：10:00~24:00
定休日：無
※

